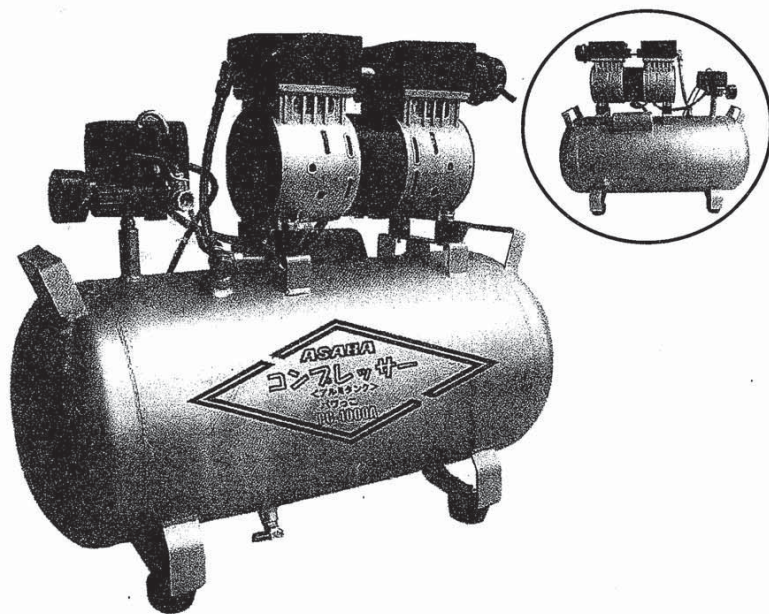


オイルレス エアーコンプレッサー 「パワっこ」 PC-4000A

取扱説明書

この度は、弊社の『PC-4000A』オイルレスエアーコンプレッサーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ず取扱い説明書を充分お読み下さい。
尚、本体を譲渡、又は貸出しする際は本取扱い説明書を必ず添付し、譲受(借手)の方は必読し充分にご理解されてからご使用下さい。



ASB 株式会社 麻場

この度は、電動式オイルレスエアーコンプレッサーをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。
本製品で安全な作業をしていただくために、ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
又、この取扱説明書は本製品を使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管して下さい。
尚、本製品を貸出し、譲渡する場合は必ず取扱い説明書を添付頂き、借受け、譲受け、された方は取扱い説明書を熟読し適切なお取扱いをお願い致します。
ご不明の点がある場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせ下さい。

目次

安全上のご注意	1
1. ご使用上の注意事項	2
2. 絵文字表示の内容	2
3. お願い	2
4. 用途	2
5. 警告	2
6. 仕様	3
7. 付属品部品図	3
8. 各部名称	3
9. 設置・保管場	4
10. 運転	4
11. 圧力調整方法	4
12. 保守と点検	5
13. トラブルの原因と対策	6
14. 保証	7

安全上のご注意

取扱説明書に従い安全にご使用下さい

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。		注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性又は物的損害の可能性のあるもの。重大な結果に結び付く可能性があるもの。
--	-----------	--	--	-----------	---

■本文中で使用される“絵表示”の意味は次の通りです。

	危険		指示を守る		禁止
	電源プラグを抜く		アース線接続		機械の水ぬれ禁止
	取扱説明書をよく読んで下さい		可燃物のそばで使用しないで下さい 火気禁止		ぬれ手で接触禁止
	作動部品に手や指を挟まないよう十分ご注意下さい		移動及び操作時に手をはさまないように注意して下さい		子ども、動物などは本体に近付けなで下さい

9: 設置・保管場所



注意

- ・本機は、お子様の手の届かない所に保管し、温度の高い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避け、チリ・ホコリが少なく風通しが良い場所を選んで下さい。
- ・点検し易いよう、壁から30cm以上離して平らな場所を選んで下さい。
- ・室温は40℃を超えないようにして下さい。
- ・清浄な空気が吸入できる場所を選んで下さい。チリ・ホコリの多い所では、フィルターの目詰まりにより空気量の低下やシリンダー、ピストンを傷つけ、性能が落ちる事があります。

10: 運転

① スイッチ

スイッチレバーは、OFFで停止、ONで起動します。

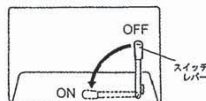
② 起動する前のお願い

付属品・部品を取り付ける。各部名称図を参考にエアフィルターをコンプレッサーに取付けます。取付はエアフィルターを時計方向に回して締め込みます。次にエアカプラを取付けます。エアカプラネジ部に付属のシールテープを巻きます。巻き方はエアカプラをネジ側から見て時計方向にネジ先端から一山程度残して4～5重に巻いてエアコックのメスネジ部に締め込みます。

③ 圧力装置

本機の使用圧力 0.78～0.81MPa (8～8.3kgf/cm²) になりますと、自動的に圧力スイッチが作動してOFFの状態になり、圧力が0.59～0.64MPa (6～6.5kgf/cm²) まで下がりますと再び起動し始めます。

スイッチボックス



注意

圧力 0.78～0.81MPa (8～8.3kgf/cm²) で圧力スイッチが働かず圧力が上がっても、0.86～0.98MPa (9～10kgf/cm²) で安全弁が作動し圧力を下げる構造になっております。

④ 始動

スイッチをONにします。モーターが起動し空気がタンク内に溜まります。圧力 0.78MPa (8kgf/cm²) で圧力スイッチが作動しモーターが停止します。この間スイッチをOFFにして、途中で止めたりしないで下さい。吐出口のカプラソケットにエアホースカプラ(プラグ 1/4in)を押込みます。抜く際はリングを押し、外して下さい。

11: 圧力調整方法

① 圧力を上げる場合

スイッチカバーの取り付けネジをドライバーで外し、スイッチ部カバーを取り外して下さい。

図の⊖をドライバーで時計方向に1回転させて調整して下さい。

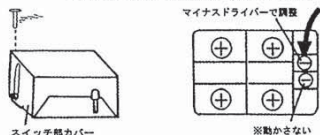
(目安として圧力が約 0.05MPa (0.5kgf/cm²) 上がります。)

② 圧力を下げる場合

圧力が 0.78 MPa (8kgf/cm²) で止まらない場合

同じ⊖をマイナスドライバーで反時計方向に1回転させて下さい。

(目安として圧力が約 0.05MPa (0.5kgf/cm²) 下がります。)



※動かない
(黒いプラスチックのネジ)

注意：もう一方の⊖は動かさないで下さい。

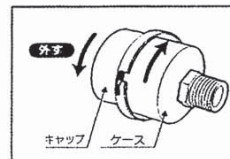
調整はタンク内圧力計をもとに行ってください。

12: 保守と点検

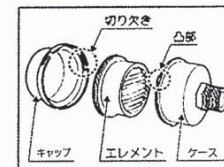


- ① エアエレメントは、定期的に交換して下さい。年に一回を目安としますが、汚れがひどい場合は、本機機能を低下させないためにも早めに交換して下さい。

※ 補修部品(別売)は弊社に用意しておりますので販売店にお問い合わせ下さい。



本体からエアフィルターを外す時、ナットが空転する場合はスパナを使用して下さい



- ② 下記の図のドレンコックから水抜きを行って下さい。その際一気にドレンコックを開きますと、圧縮された空気とサビが混じった水が飛び散り、失明や耳を傷める恐れがありますので注意して下さい。トレイなどを置いてドレンコックを少しずつ開いて排出して下さい。

ドレンコック

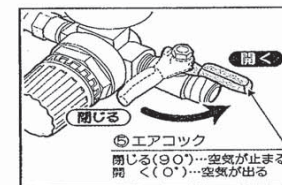


- ③ 必ず水抜き作業を行って下さい。

エアーを圧縮すると必ず水が発生します。サビ防止のため、使用後はエアータンク内の水抜きを行って下さい。



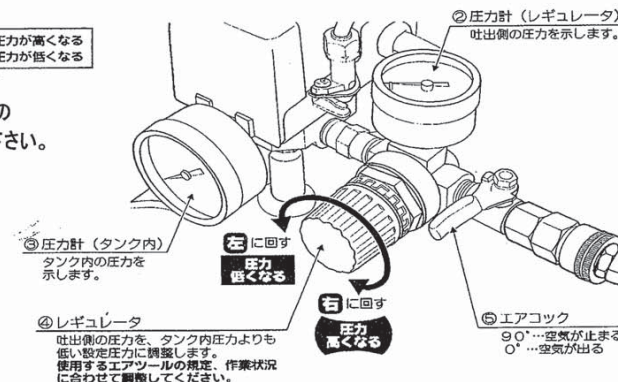
- ④ 作業終了後は、エアータンク内のエアー抜きを行いタンク内は空にしてください。



- ⑤ レギュレーターに関して

○レギュレータを右に回す…吐出圧力が高くなる
○レギュレータを左に回す…吐出圧力が低くなる

※ 吐出圧はレギュレーターのつまみ調整で決めて下さい。



13:トラブルの原因と対策



故障の種類	原因	対策
圧縮機が回転しない	・コードが外れている ・延長コードが長すぎる ・タンク内圧力計が約 0.59MPa (6kgf/cm²) 以上になっている ・モーターの故障 ・圧力スイッチの故障	・確実に接続する ・規定長さで容量のものを使用 ・スイッチが切れていることを確認し、タンク内のエアを抜き、再起動させる ・モーターの点検・交換 ・圧力スイッチの交換
圧力が上昇しない・ 上昇が遅い	・ドレンコックが開いている ・圧力計の故障 ・回転数の低下 ・空気漏れ ・安全弁の作動不良 ・消音器(フィルター)の汚れ	・ドレンコックを閉じる ・圧力計の交換 ・入力電圧の確認 ・漏れ箇所の修理 ・安全弁の調整または修理 ・フィルターのエレメント交換
異常音・振動	・設置不良 ・締め付け部のゆるみ ・本体各部の摩耗	・設置(場所)の変更 ・増し締めをする ・消耗部品の交換

その他、原因不明の場合はお買求めの販売店にご相談ください。

●メンテナンス記録

検査日付 検査項目	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
本体損傷の有無						
安全弁						
水抜き						
フィルターの汚れ						
異常音・振動・その他						
検査担当者						